



上川管内公立小中学校事務職員協議会
 発行者 広報担当 菊地康子(東川中)
 第6号 2017.2.2

**経験年数の少ない事務職員のための
 冬季研修講座が開催されました！**

2017年1月13日(金)に上事協による、経験年数の少ない事務職員(採用6年未満と期限付採用者)のみなさんを対象とした冬季研修講座が行われました。今回は旭事協の新採用者事務職員も参加し、大いに盛り上がりました。

研修講座は、日常の職員会議で提案している文書で上事協理事などの先輩事務職員が模擬提案を行ったり、日常業務や実践で困っていることを交流したりなど、盛りだくさんの研修内容でした。

参加されたみなさんから、感想をいただきましたのでご覧ください。



上事協冬季研修講座に参加して

南富良野町立南富良野西小学校 菅野 桃子

今回の研修会は経験年数6年未満の事務職員を対象とした研修会ということで参加させていただきました。私自身、事務職員の経験は2年目でまだまだ分からないことだらけで、日々先輩方の力を借りながら仕事をしています。この研修会では、日常の業務で困っていることを少しでも解消し、今後活かすことができればと思い参加しました。

実務研修では、その場を職員会議に見立てて、校内予算・子どもアンケート・備品点検・安全点検について、実際の提案文書で発表していただきました。また、事務だよりの発行や、個人ファイルの作成・整理方法

についても発表していただきました。職員会議の提案では、他の職員が理解しやすい文書作りや提案の仕方が工夫されており、大変勉強になりました。学校によって内容は多少違って、誰もが理解できる文書で提案することについては共通していました。今後は理解しやすい提案文書を意識して、提案したいと思いました。事務だよりについては、事務だよりに通して情報発信をすることで、様々な人とのつながりができ、それが教育環境整備につながるということを学びました。とても参考になる事務だよりの資料としていただいたので発行の参考にさせていただきたいと思います。個人的には、保護者向け事務だよりのネタが尽きてきていたので、早速参考にさせていただきました。

今回の研修では、多くのアドバイスをいただいたり、困っていたことが解決したりと、とても有意義な時間を過ごさせていただきました。この研修で得たことを少しでも日常の業務に活かし、事務職員として成長できるように努力したいと思います。

終わりに、多くの資料を用意してくださった担当者のみなさま、本当にありがとうございました。



冬季研修講座を受講して

幌加内町立幌加内小学校 佐藤 那哉

冬季研修講座を通して、深く感じたことやこれからはとりくもうと思ったことがありました。それは、職員に対してのひと手間や心遣いです。

今回の講座の中で心に残ったことは富良野小学校小林さんが提案していた事務だよりについてです。事務だよりの発行による情報発信で、人と人とのつながりを作ることができるということでした。また職員に向けて、給与や休暇について等の実務的なことを伝え

ることができる手段としても有効だと思いました。さらに職員や保護者だけでなく、子どもに向けた事務だよりも発行し、子どもアンケートや学校施設のことを発信しており、文章だけでなく、イラストや図などを取り入れて子どもたちでも分かるように工夫して作られていました。それによって子どもたちにも分かりやすく伝えることができ、とても有意義だと思いました。

事務だよりを発行すること。そのひと手間で、言葉では伝えきれないことが文字で伝わることもあり、さらに文字でも伝わらない場合は、言葉や図を付け足して表現できるということを実感できました。まだ事務だよりを発行したことがないので、次年度からはこの研修講座の資料を参考にして、自分の学校でも発行したいと考えています。

この冬季研修講座で経験年数の近い事務職員と悩みを共有したり、先輩方の職員会議の提案の仕方や資料を勉強することができたりと、とても有意義な時間を過ごすことができました。今回学んだことを活かして、日々の業務に取り組んでいきたいです。



(研修会の様子)



上事協冬季役員学習会に参加して

富良野市立富良野小学校 小林 篤史

1月13日の午前中、上川教育研修センターにて冬季学習会が開催されました。

最初に、「学校事務の今後について」をテーマに、

まず上富良野中学校の坂本さんから「文科省『業務の適正化』通知タスクフォース報告について」資料を用いて情勢報告していただき、その後「学校事務職員の職務と校務負担軽減」「道教委のミッション加配の現状」「二本立て運営計画の今後」についての3つの柱で意見交換を行い、学習を深めました。

「タスクフォース」という言葉に馴染のある方はびんと来るかと思いますが、馴染のない方は、うん？スターウォーズのフォースかなにか？？と思うかもしれません。タスクフォースは略称で、正式には「次世代の学校指導体制にふさわしい教職員の在り方と業務改善のためのタスクフォース報告」と言います。「チームとしての学校」もあり、頭の中で混乱してしまっているのですが、現在文科省は、教員が担うべき業務に専念する環境を確保するためには「業務改善」と「学校指導体制の整備」という双方ですすられる必要があるとしています。その「学校指導体制の整備」の部分を中心に検討されているものが「タスクフォース」です。「タスクフォース」「チームとしての学校」ともに、教員が子どもと向き合う時間を増やすや、教員の担わなくてもよい業務を軽減し指導体制の強化をするという目的です。これらを達成するために、学校事務職員の仕事の幅を増やし、共同実施の活用をよりすすめようとしています。それに伴い学校教育法が、学校事務職員について現行の「事務に従事する」から「事務をつかさどる」へ改正されます。「つかさどる」は、仕事の幅が増え、職域が拡大されるイメージです。このような流れから、北海道でも職務内容にかかわる通知や、共同実施の導入が考えられます。

意見交流の中で、制度が変わることは自分たちではどうにもならない部分が多いので、その中でも利用できるところは利用して、自分たちに引き寄せていくべきとなりました。これからも、上川が積み上げてきた「学校間連携」を推進していくことが必要だと思います。

次に学習会は、柱に沿った交流へとすすみました。「学校事務職員の職務と校務負担軽減」「道教委のミッション加配の現状」について共通していた点は、や

はり正規職員を中心に「ひと」が増えなければいけないということでした。その上で、学校全体を見渡して業務分担を考えなければ校務負担軽減につながらないのでとの交流になりました。例えば学年会計業務について、会計業務を事務職員が一手に引き受けるのも一つの形だし、担当者が教員で、事務職員が会計についてアドバイザー的にかかわる形も校務負担軽減につながるのでは？という意見が出されました。

「二本立て運営計画の今後」についてでは、もう二本立てにこだわらなくてもいいのではないかとという意見もありましたが、学校事務職員の職務内容はなにか？と問いかけられている今だからこそすすめていくべきだという交流になりました。今後「二本立て」という名称を意識し過ぎないで、運営計画を作るということを強く意識して、中身を充実させるという考え方もあるという交流もされました。藤崎会長から、教育目標を実現するためのものは事務係運営計画(分掌業務)で、教育目標を踏まえて学校づくりをするためのものが学校事務運営計画(本来業務)であるという、崇高なお話もありました。

個人的には交流の間、たくさん発言してしまいましたが、本当に私たち学校事務職員を取り巻く環境が厳しさを増す中、自分たちはどうしていけばいいのか？をいろいろ考えることができた、とても有意義な学習会でした。



第126回上川管内事務職員研究大会が行われます！

2017年2月23日(木)・24日(金)に旭川市上川研修センターにて行われます。一日目23日は13時より受付をし、16時30分まで研修を行います。また、2日目24日は8時50分受付、一日目と同様16時30分まで研修を行います。すでにご案内し、参加集約を終えましたが、一日だけでも参加可能な方はいらっしゃいませんか？また、二日目終了後に行われる懇親会への参加もまだ間に合います。ご希望の方は東川中菊地までご連絡ください。

《主な内容》

* 研修①

○今年度の提起を振り返る～研修部報告

○各ブロック1年間の研究推進の概要報告

- ・名寄ブロック 井本孝志(風連中央小)
- ・士別ブロック 西木信裕(士別小)
- ・中央ブロック 村中 誠(比布中央小)
- ・富良野ブロック 長岡典枝(麓郷小中学校)
- ・市町村からの発表 (幌加内町・南富良野町)

○個人レポート

* 私たちがすすめる教育環境整備について

～ひと的整備を意識しながら～

- ・葛西賢人(士別南中)
- ・長能ひとみ(名寄中)
- ・柳原拓也(富良野東小)
- ・橘文昭(美瑛中)

* 研修②

○研修部による現状把握及び

次年度以降の方向性について～研修部報告

* 研修③

○第67回北海道公立小中学校事務研究大会

「名寄ブロックレポート」研究協議

- ・発表 本郷 肇(名寄西小)
- ・司会者 前畑 孝明(名寄東小)

* 研究協議(分散会)

○今年度最後の協議となります。活発な協議が行われるよう、期待しております。

